月刊 あなたにこの本を！ 平成19年6月号

大阪市立図書館　「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

・・・字が大きめ　・・・中高生にも　・・・図・写真が多い

※価格のあとの（　）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

世界あやとり紀行　ー精霊の遊戯ー

ＩＮＡＸ出版　1575円　(0011332871)　**ジャンル　：　歴史・文化に親しむ**

あやとりは、実は日本だけのものではない。世界各地でそれぞれ独自に自然発生し、儀式や遊びに使われているのだという。パプアニューギニアに伝わり6メートル以上ものひもを使って作る「天の川」、アメリカの先住民保留地に伝わり性別を占う「赤ん坊占い」、日本の幻の伝承あやとり「お守り」など、色あざやかな写真が続き、楽しくなる。原始の自然、習慣、知恵などをいきいきと今に伝えるこの「原始芸術」の奥深さに触れてみませんか。〔384.5〕

12歳の大人計画　ー課外授業ようこそ先輩ー

松尾スズキ　著
文藝春秋　1200円　(0011334426)

ジャンル　：　子どもの成長のために

劇団「大人計画」の演出家・俳優として活躍する著者が、NHKの番組で6年生に行った授業の記録。「大人って何だろう」というテーマで子どもたちと一緒に考える。授業は、「銀座の恋の物語」を題材に大人のムードを学ぶ、大人っぽい言葉を考える「大人選手権」などとてもユニーク。やがて、大人の苦労や子どもへの愛情を知り、将来の自分像を見つけていく子どもたちの姿が印象的。授業のやりとりがおもしろく、大人も子どもも楽しめる。〔Eマツオ〕

アメリカ村のママ　日限萬理子(ひぎり　まりこ)

日限満彦　著
小学館　1680円　(0011375619)

ジャンル　：　大阪にゆかりの本

「アメリカ村の生みの親」と慕われる日限萬理子は、戦前の大阪島之内に生まれ、洗練された空気の中に育った。夜遅くにおいしいコーヒーが飲みたいからカフェを作り、自分の求める音で踊りたいからクラブを立ち上げる。そこにおしゃれな若者が集まり、結果的にアメリカ村と呼ばれる街に発展した。晩年、持病に悩まされながらも、現場の人であり続けた彼女の生涯を、実弟である著者が愛惜の思いをこめてつづる。大阪の若者文化史も透けて見える。〔Bヒキリ〕

日本人の死に時　ーそんなに長生きしたいですかー

久坂部　羊　著
幻冬舎　756円（0011357062）

ジャンル　：　現代社会を見つめる

医療の進歩により、日本は人生八十年の時代ともいわれる高齢社会に突入した。しかし、その裏では延命治療により、死を目前にしても臨終をむかえることができず苦しむ高齢者たちがいる。本書では、老人医療の第一線で活躍する現役医師が、長寿ではなく人としての天寿をまっとうした死に方、すなわち「死に時」について指南する。老化現象の現実や、介護問題などの老人医療の問題点を軸に、「死とは何か」を切実に問う。〔367.9〕

イワシが高級魚になった？　ーふしぎな海の生態系ー

中村幸昭　著
PHP研究所　1260円（0011367459）

ジャンル　：　自然・環境を考える

イワシはプランクトンをえさとする魚の中でも最も数が多く、「海の米」とも呼ばれる。だがイワシは近年数が激減し、それを食べる魚も減ってきている。第1章では、鳥羽水族館名誉館長である著者がその謎(なぞ)にせまる。2章以降では、他の魚の病気を治すマンボウや、メスの体に寄生するアンコウのオスなど、海にすむ生き物の不思議な生態や、おいしい魚の食べ方を紹介。魚を見るのも食べるのも大好きな著者ならではの楽しい一冊になっている。〔481〕

不安症を治す　ー対人不安・パフォーマンス恐怖にもう苦しまないー

大野　裕　著
幻冬舎　756円（0011356462）

ジャンル　：　現代社会を見つめる

人前で話をしていて、緊張のあまり頭が真っ白になる。会議のプレゼンテーションが苦手で、不安で夜も眠れない。そんな悩みを持つ人は多いはず。それは性格の問題ではなく、精神科や心療内科で治療できる病気かもしれない。本書では、「社会不安障害」「パニック障害」などの不安症とその治療法を、認知療法の第一人者で、自分も人前で話すのが苦手という著者がやさしく解説。不安との上手なつきあい方を提案する。〔493.7〕

花舞台へ帰ってきた。ー吉田簑(みの)助と山川静夫　脳卒中・闘病・リハビリ・復帰の記録ー

吉田簑助、山川静夫　著
淡交社　1890円（0011357547）

ジャンル　：　生き方・考え方に学ぶ

文楽の人間国宝吉田簑助と、アナウンサー山川静夫。山川の演芸好きもあって親しくつきあってきたが、脳卒中であいついで倒れる。言葉が出ない、手が動かないと致命的な打撃をうけるが、励ましあい、復帰を目指す。本書では、リハビリの一環として交わした手紙を軸に、その間の回想が語られる。ようやく舞台にもどれた嬉(うれ)しさを報告する簑助と、我がことのようにそれを喜ぶ山川。互いを思いやる温かい手紙文に、心うたれる。〔777.1〕

『婦人公論』にみる昭和文芸史

森まゆみ　著
中央公論新社　987円（0011381351）

ジャンル　：　知識・教養を深める

2006年、創刊90周年を迎えた雑誌「婦人公論」に1年間好評連載されたものをまとめたのが本書である。綺羅(きら)星のような作家たち23人の人生と同誌に記した作品が紹介される。「細雪」や「夕鶴」などの有名な作品もあれば、有名作家による無名の大甘恋愛小説もある。雑誌の編集者であり作家でもある著者の語りは、読みやすく、思い入れたっぷりで楽しい。丹念で確かな調査に基づいた本書は、作家や名作にふれる入門書としても良い。〔910.26〕